

IUGG'91 (第20回測地学・地球物理学連合総会)のお知らせ

標記会議の第1回サーキュラーがあります。主な記事を以下に記します。

日時：1991年8月11日～24日

場所：ウィーン（オーストリア）

ウィーン工科大学（ウィーンのダウンタウンにある）が主会場。

主催：IUGG'91 組織委員会

プログラム：

実行委員会は、IUGG（連合）とそのメンバー協会の以下の要求を満たすように準備している。

- 連合と協会の講演
 - 招待論文および投稿論文によるシンポジウム
 - 専門内野および各分野にまたがるワークショップ
 - 旅行および展示会（会合の前後には、長期の研究旅行が、会合中の週末には、短期の小旅行が予定されている。新旧の地球科学映画の上映が新しい試みである。）
- 連合と各協会にまたがる会合に加えて、以下の各協会が主催するセッションが開かれます。
- 測地学

- 地震学および地球内部物理学
- 火山学および地球内部化学
- 地球電磁気学および Aeronomy
- 気象学および大気物理学
- 水文学
- 海洋物理学

同時に、連合や各協会の様々な委員会およびワーキンググループが会合を開きます。学科間のプログラムもまた開かれる予定です。特に、以下のものです。

ILP —International Lithosphere Program

IGBP—International Geosphere-Biosphere Program

STEP—Solar-Terrestrial Energy Program

論文の応募方法など：

論文の応募方法など詳しくは、1990年春発行予定の第2回サーキュラーで示されます。第2回サーキュラーを希望する方は、第1回サーキュラーにある以下のようなフォームに記入し、組織委員会へ送る必要があります。（このフォームの長さは元の0.7倍です。）

裏（送り先）

IUGG '91 Organizing Committee
c/o Prof. Peter Steinhauser
ZAMG
Hohe Warte 38
A-1190 Vienna, Austria, EUROPE

表 (フォーム)

IUGG '91 Vienna, Austria 11-24 August 1991	
Please put my name on the mailing list for further circulars	
Name/First Name	
University/Company/Agency	
Institute/Department	
Street	
Postal Code *)	City
Country/State	Zip Code *)
*) If applicable	

1990 WPGM 気象学関係のお知らせ

1990年8月21日～25日に開催される国際地球物理金沢会議のプログラムについて1989年時点での気象学関係の計画の進行状況をお知らせいたします。

- 1) 少なくとも、1会場5日間を気象学関連の研究発表に当てる予定です。
- 2) 一般セッションを2日程度設ける予定です。
- 3) 以下のスペシャル・セッションが予定されています。

(1) 台風 (発生を中心にして)

コンピーナー：山岬正紀氏 (気象研)

(2) 大気・海洋・陸面相互作用 (海洋分野と共催)

コンピーナー：安成哲三氏 (筑波大)

(3) グローバルな水循環と気象 (水文分野と共催)

コンピーナー：吉野文雄氏 (土木研)

(4) 中層大気の力学過程 (太陽惑星分野と共催)

コンピーナー：深尾昌一郎氏 (京大超高層研)

(5) 成層圏オゾンと大気化学 (太陽惑星分野と共催)

コンピーナー：小川利紘氏 (東大理)

日本気象学会員の多くはAGUの会員ではありませんが、この会議には、AGU会員と同じ資格で参加できますので、募って御参加ください。

なお、参加申込の方法やアブストラクト形式、その他のお問い合わせはPC連絡先である本蔵氏 (東工大 電話 03-726-1111 内 2341) または下記へどうぞ。

木村竜治 (東大海洋研)

電話 03-376-1251 内 277

Fax 03-377-3395

木田秀次 (気象庁数値予報課)

電話 03-212-8341 内 449